

歯科医療関係者の新型コロナウイルス感染率は高いのか？(2020/4/17)

株式会社ファンクション・ティ代表取締役・歯科医師
田尾耕太郎

前書き

新型コロナウイルスによって世界中の人が大きな不安を抱えての生活を余儀なくされていますが、その中でも歯科は特に感染リスクが高い場所と考えられています。

それでも診療をやめるわけにはいかず、大きな不安を抱えながら勤務をされている人も多いのではないかと思います。

不安の大きな原因の一つは、「わからないこと」です。そこで、今まで目に見えなかった「数字」を私なりにまとめてみました。

決して正確性の高い数字ではありませんが、現状を把握する一助にはなるのではないかと思いますので、よろしければ参考にされてみてください。

現在までに分かっている 歯科関係の新型コロナ感染者

2020/3/31

- 福井、歯科助手（30代女性）、接待を伴う飲食店に勤務しておりそこからの感染濃厚

2020/4/2

- 東京、歯科医師、日本大学歯学部の大学院生
- 千葉、歯科医師（20代女性）、都内勤務

2020/4/3

- 埼玉、歯科医師（20代男性）、明海大学歯学部の大学院生
- 埼玉、歯科医院勤務（40代女性）

2020/4/10

- 高知、歯科衛生士（50代女性）

2020/4/14

- 北海道、歯科医師夫婦、都内勤務、発症後旭川に帰省
- 三重、歯科医師（50代女性）、発症後も診療を続ける※クラスターの可能性
- 三重、歯科医院勤務（上記歯科医師と同じ職場）※クラスターの可能性
- 千葉、歯科衛生士。日本大学松戸歯学部勤務
- 千葉、歯科助手（50代女性）

歯科関係者の新型コロナ感染者については、報道発表があったもののみ掲載しています。実際には国内の新型コロナ感染者数8582人(2020/4/17時点)の中に上記以外の歯科関係者が含まれている可能性があります。

日本の人口

1億2650万人

歯科関係者の人口

約42万人

歯科医師 約9万人（実働）
歯科衛生士 約13万人（実働）
歯科助手ほか 約30万人（推定値）

国内の新型コロナ感染者数
（4/17時点）

8582人

歯科関係者の新型コロナ感染者数
（4/17時点）

12人

日本人の新型コロナ罹患率
（4/17時点）

0.0068%

歯科関係者の新型コロナ罹患率
（4/17時点）

0.0029%

歯科関係者の新型コロナ感染者数については、報道発表があったもののみで計算しています。実際には国内の新型コロナ感染者数8582人の中に歯科関係者が含まれている可能性がありますので、上記数字は正確ではない可能性があります。それでも、極端に歯科医療関係者の感染率が高いということはないのではないか？という推測はできるデータではないのでしょうか？

もちろんこの結果をもって、歯科医院が安全であると言えるわけではありません。今まで通り十分な感染予防に取り組み、自粛できる部分は自粛し、新型コロナが終息するその時まで社会の中での各々の役割を全うして頂ければと思います。